

## 女子ソフトボール部 公立新人選手権大会報告



11月23日（祝）公立新人選手権大会1回戦が行われました。江北高校の対戦相手は、国分寺高校でした。国分寺高校は文武両道の学校であり、国分寺高校ソフトボール部はこの公立新人選手権大会では、4大会連続でベスト4以上の結果を残している強豪校です。

江北ソフトボール部は、今大会に向け、練習や練習試合を通して、今できる最大限の準備を行い、大会に臨みました。（練習試合、多くの学校にお世話になりました。ありがとうございます！）

江北は後攻、国分寺が先攻で試合が始まりました。

1回表、守りからリズムを作りたい中で、1番打者に3ボール1ストライクから四球によりランナーを出してしまいました。選手全員に、1人目をアウトにする事に全力を尽くすことを伝えていた中で四球でした。ピッチャーも緊張の中、際どいコースもあり、惜しい立ち上がりとなりました。2番打者は、盗塁を警戒する中でのバッター勝負となりましたが、2ボール2ストライクからファールで粘られ、結果的に連続四球となりました。3番打者の場面では、初球をプッシュバントで出塁され、ノーアウト満塁で4番打者を迎えました。ピッチャーは、4番バッターにも負けることなく、ノーボール2ストライクと追い込み、ボール、ファールと続き5球目をピッチャーに強襲のゴロを打たれました。落ち着いて処理できれば、問題ないゴロでしたが、弾いてしまい、1点を失いました。ノーアウト満塁のピンチはなお続き、5番バッターに3ボール2ストライクからセンターにヒット性のライナーの打球が飛びます。この打球を1年生のセンターがファインプレーでアウトにします。初心者でソフトボールを始めた選手がチームのピンチを救いました。しかし、続く6番打者のショートゴロをエラーしてしまい、失点し、7番バッターのセカンドゴロアウトの間にさらに1点を失いました。続く、8番バッターをピッチャーフライに抑え、この回は、なんとか3失点で終わりました。

1 回裏本校の攻撃、1 番打者は 2 ボール 1 ストライクからショートへ強い当たりを打ちましたが、ショートゴロで 1 アウト。続く、2 番打者が四球を選び、3 番打者。3 ボール 2 ストライクと粘りましたが、6 球目を空振り三振と同時に盗塁成功で 2 アウトながら、4 番で 2 アウト 2 塁のチャンスを作りました。このチャンスに、3 ボール 2 ストライクから 2 つのファールから 8 球目をセンター前にヒットを打ちましたが、打球が強いいい当たりのため、2 塁ランナーは帰れず、2 アウト 1・3 塁で 5 番バッターを迎えます。1 ボール 1 ストライクから 1 塁ランナーに盗塁のサインを出し、キャッチャーがセカンドに送球する間に、サードランナーがホームへ帰り、1 点を返します。なおも、2 アウト 2 塁のチャンスが続き、5 番打者。3 ボール 2 ストライクまで粘り、四球を選びます。しかし、後続の 6 番打者が惜しくもセカンドゴロで 3 アウトチェンジ、この回は 1 点に終わりました。

2 回表の国分寺の攻撃は、9 番打者、1 番打者と 2 者連続三振をとり、2 番打者も 1 ボール 2 ストライクまで追い込んだところで、痛恨のデットボール。続く 3 番打者を 3 ボール 2 ストライクからの四球。この間に盗塁もあり、2 アウト 2・3 塁のピンチを迎えます。4 番打者を 2 ボール 2 ストライクと追い込んだ 5 球目を打ち取った当たりのセカンドゴロを、2 塁手がトンネルをし、2 失点。続く 6 番バッターもショートのエラー、パスボールでもう 1 失点をし、この回も 3 点を失います。

3 回は、エラー・四球が重なり、大量失点となりました。最後まで、生徒は諦めることなく、全力でプレーをしましたが、力及ばず敗戦してしまいました。

この大会を通して、生徒の成長した姿も、今後の課題も見つけることができました。大会には負けてしまいましたが、試合中はソフトボールを真に楽しんでいる姿を見ることができました。自分の役割を認識し、緊張したり、成功して喜んだり、失敗して悔しかったり、選手の輝いた姿を見ることができました。試合をしている姿や試合後のミーティングから、まだまだ成長できるチームだということも確信できました。

#### 《試合結果》

#### 公立新人選手権 1 回戦

都国分寺 3 3 7 13

都江 北 1 0 0 1

保護者の皆様におかれましては、日頃よりソフトボール部の活動に御理解、御協力を賜り、誠にありがとうございます。無観客試合のため、応援にお越しいただくことができない中、部員一同、最後まで諦めず、真っ直ぐに相手に立ち向かい、自分に立ち向かい、試合をすることができました。今後も学習活動と部活動の両立をめざし、さらに成長できるよう活動していきます。今後とも引き続き、御支援を賜りますようお願い致します。